

21世紀 COE「京都大学化学連携研究教育拠点」外国人講演会 開催報告書

(理学研究科) 林 民生

研究集会名：理学研究科化学専攻 有機化学セミナー

演者：Professor Hans-Ulrich Reissig

Freie Universität Berlin, Germany (ベルリン自由大学、ドイツ)

演題：Synthesis of Heterocycles and Natural Products via Alkoxyallenes

(アルコキシアレンを用いた複素環化合物および天然物の合成)

場所：京都大学大学院理学研究科化学専攻 理学部2号館第3講義室 (130号室)

日程：2006年11月17日 16:30-18:00

総参加者概数：約25名

講演内容：

Hans-Ulrich Reissig 教授は、有機合成反応の開発から天然物合成に至るまで、有機化学の幅広い分野で業績を挙げており、今回は、リチオ化したアルコキシアレンを出発ビルディングブロックに用いた様々な複素環の合成反応およびそれを利用した天然物や類縁体の合成への展開についての講演を行った。中でも、このビルディングブロックとアルデヒド、イミン、またはニトロンの反応に焦点を当て、それに続く環化反応によって有用な5員環または6員環化合物が高い選択性で得られることを示した。この付加・環化を経る2段階反応は複雑な天然物やその類縁体を合成する上でも力を発揮し、実際に L-cymarose や(-)-detoxinine などの全合成例の詳細についても言及した。これら以外にも、非天然型の糖類縁体化合物への変換例も示し、このアルコキシアレンの有用性を明らかにした。

